

香川高等専門学校	開講年度	令和04年度(2022年度)	授業科目	実践英語
科目基礎情報				
科目番号	222002	科目区分	教養 / 必修	
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	創造工学専攻(建設環境工学コース) (2023年度以前入学者)	対象学年	専1	
開設期	前期	週時間数	2	
教科書/教材	各種ハンドアウト、プリント教材(教員配布)			
担当教員	徳永 慎太郎			
到達目標				
TOEICで最低でも400点を得点できる程度のリスニング・リーディングの力を解説・演習方式の授業にて身につける。				
ループリック				
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1	TOEIC-IPなどに必須の基礎的英語知識を習得できる	TOEIC-IPなどに必須の基礎的英語知識を習得できる	TOEIC-IPなどに必須の基礎的英語知識を習得できていない。	
評価項目2	TOEIC-IPにて最低でも500点を取得できる。	TOEIC-IPにて最低でも400点を取得できる。	TOEIC-IPにて400点を取得できていない。	
学科の到達目標項目との関係				
学習・教育目標 D-3				
教育方法等				
概要	TOEICで最低でも400点を得点できる程度のリスニング・リーディングの力を解説・演習方式の授業にて身につける。			
授業の進め方・方法	各時間の前半45分はテキストを用いた講義、後半45分は模擬問題の演習・解説とする。 また、自学自習時間に相当する課題を毎回の授業にて出題する。			
注意点	講義は前期で終了するが、年度末に評価を行う。評価はTOEIC試験の得点においてなされるが、本校で実施するTOEIC(IP)、授業内で実施する複数回のTOEIC模擬試験、本年度4月～12月までに実施のTOEIC公開テストのいずれかにおいて400点以上の得点を上げた者については、別に定める基準に応じて、期末試験の成績に代えることができる。TOEICの受験は何度しても構わないこととし、原則として最も高得点を得た試験で評価を行う。TOEIC(IP)については、TOEIC運営委員会発表によるTOEIC公開テストとIPの平均点を参考に、別途適切な基準を定める。 また、自習自習については、授業中の発言やTOEICの得点にて確認をする。			
授業の属性・履修上の区分				
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング	<input type="checkbox"/> ICT 利用	<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業	
授業計画				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	・各パートともに40%以上の正解率をあげること。 ・TOEIC模擬試験にて380点程度以上の得点を得ることができる。	
		2週	・各パートともに40%以上の正解率をあげること。 ・TOEIC模擬試験にて380点程度以上の得点を得ることができます。	
		3週	・各パートともに40%以上の正解率をあげること。 ・TOEIC模擬試験にて380点程度以上の得点を得ることができます。	
		4週	・各パートともに40%以上の正解率をあげること。 ・TOEIC模擬試験にて380点程度以上の得点を得ることができます。	
		5週	・各パートともに40%以上の正解率をあげること。 ・TOEIC模擬試験にて380点程度以上の得点を得ることができます。	
		6週	・各パートともに40%以上の正解率をあげること。 ・TOEIC模擬試験にて380点程度以上の得点を得ることができます。	
		7週	・各パートともに40%以上の正解率をあげること。 ・TOEIC模擬試験にて380点程度以上の得点を得ることができます。	
		8週	・各パートともに40%以上の正解率をあげること。 ・TOEIC模擬試験にて380点程度以上の得点を得ることができます。	
後期	2ndQ	9週	・各パートともに40%以上の正解率をあげること。 ・TOEIC模擬試験にて380点程度以上の得点を得ることができます。	
		10週	・リスニング問題では30%以上、他の問題では40%以上の正解率をあげること。 ・TOEIC模擬試験にて400点程度以上の得点を得ることができます。	
		11週	・リスニング問題では30%以上、他の問題では40%以上の正解率をあげること。 ・TOEIC模擬試験にて400点程度以上の得点を得ることができます。	
		12週	・リスニング問題では30%以上、他の問題では40%以上の正解率をあげること。 ・TOEIC模擬試験にて400点程度以上の得点を得ることができます。	
		13週	・リスニング問題では30%以上、他の問題では40%以上の正解率をあげること。 ・TOEIC模擬試験にて400点程度以上の得点を得ることができます。	

		14週	リーディング読解問題演習	・リスニング問題では30%以上、他の問題では40%以上の正解率をあげること。 ・TOEIC模擬試験にて400点程度以上の得点を得ることができる。
		15週	リーディング読解問題演習	・リスニング問題では30%以上、他の問題では40%以上の正解率をあげること。 ・TOEIC模擬試験にて400点程度以上の得点を得ることができる。
		16週	TOEIC模擬試験・解説（2）	・リスニング問題では30%以上、他の問題では40%以上の正解率をあげること。 ・TOEIC模擬試験にて400点程度以上の得点を得ることができます。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識 聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能 日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16

評価割合

	TOEIC-IP、TOEIC模擬試験	合計
総合評価割合	100	100
基礎的能力	100	100
専門的能力	0	0
分野横断的能力	0	0